



みつわ通信

2018年

4月号

担当 岡崎

間もなくお花見の季節です。

お世話になっております。温かい日も徐々に増え、お花見ができる季節ももうすぐのようです。季節の変わり目ですので体調管理、花粉症等々ご自愛下さい。

今回はコンクリートのJISマークについてのお話をしたいと思います。



そもそも「JIS」とは何？

「JIS」とは日本工業規格(Japanese Industrial Standards)の略でJIS(ジス)またはJIS規格(ジスキかく)と通称されています。工業標準化の促進を目的とする工業標準化法(昭和24年)に基づき制定される国家規格となっています。

なぜ工業標準化が必要か？

工業標準化とは、ものづくりの規格を統一し、形や機能、品質等を同じにすることにより、品質の底上げ(最低品質の確保)や材料・部品の調達効率の向上等を目的としたものです。コンクリート強度やスランプ値などが統一した規格になっているおかげで、県外で計画した構造物が設計者が現場に居なくとも一定の強度を保った物になるのは、コンクリートが標準化されているからということになります。

生コンの「JIS規格」

JISマーク付きの生コンを製造・販売するには、簡単に言いますと規格で定められた設備、材料、製造工程、品質が必要です。

お客様が使用する段階において、スランプ・空気量・数量(受注量を下回らないこと)強度(28日後)等の品質がコンクリートのJIS規格をみたしていなければ、マークを付けてはいけません。私達生コン工場ではお客様が見えない所で、JIS規格製品をお届けするため、設備、材料、製造工程の維持を日々行っています。



スランプ8のJIS規格値は±2.5cmです。

お気軽にお電話ください♡

コンクリートに関することなら小さなことでも構いません。

Tel 023-686-6032 まで、お電話待ってます。

Facebookやっています!! (・∀・)イネ!! お願いします!!

ホームページも毎日ブログ更新中!! 色んな情報がいっぱい!!

<https://www.facebook.com/mitsuwanamakon/>

<http://necon.co.jp/>

